見附市つながり移住支援金 よくある質問と回答

(R7.6.1時点)

	質問	回答
(1) 制度趣旨について		
1	なぜ見附市つながり移住支援金制度を実施するのですか。	市役所だけでなく、市民の皆様からも見附市の良さを発信していただくことで、2方向から見附市の魅力をPRし、まちぐるみで移住を促進するためです。市民の皆様自らが広報部長となって知人友人へ声掛けしていただき、その紹介や口コミをきっかけに見附市へ転入してくださる方を増やすことがねらいです。
(2) 対象者について		
2	支援金の対象となる「紹介者」はどのような人ですか。	支援金の申請書提出時において、見附市に1年以上在住する18歳以上の市民が対象です。
3	支援金の対象となる「移住者」はどのような人ですか。	見附市に転入する直前において、連続して1年以上県外に在住する18～45歳の方が対象です。
4	なぜ「移住者」には年齢制限があるのですか。	見附市の移住戦略では、基本方針の一つとして、子育て世帯をターゲットに移住を促進することを掲げています。そのため、対象者の年齢上限を45歳に設定しています。
(3) 支給要件について		
5	親族からの紹介は対象となりますか。	3親等以内の親族からの紹介は対象外です。いとこからの紹介であれば対象になります。
6	遠距離恋愛中の恋人からの紹介は対象となりますか。	対象となります。
7	進学、新卒就職、転職がきっかけで見附市へ転入する場合は対象となりますか。	対象となりません。ただし、所属先企業等からの命令ではなく、自己の意思により見附市に移住し、テレワークで仕事を継続する場合は、支援金の対象となります。
8	交付要綱第3条(7)「紹介者は、市長が別に指定する紹介方法により、移住者に紹介を行っていること」とありますが、市長が指定する紹介方法とは何ですか。	紹介者・移住(希望)者・市職員で実施する三者面談に参加していただきます。
9	見附市へ移住後の住居が決まる以前に移住体験ツアーに参加しなければならないのはなぜですか。	この制度の趣旨としては、友人・知人からの紹介をきっかけに見附市でも生活に興味をもち、実際に見附市に来て移住を決めていただいた方に支援金を支給するというものです。既に住居が決まっているのであれば、市民からの紹介がなくとも見附市へ転入することが確定しているため、制度の趣旨に合わないことから対象外としています。
(4) 支援金の交付について		
10	共通の友人から紹介を受けて夫婦で見附市に転入した場合、夫、妻それぞれ10万円もらえますか。	2人以上の世帯で転入した場合も、支援金額は10万円です。家族の人数によって支援金額が増加することはありません。
11	2人の紹介者が1人の移住(希望)者を紹介した場合、支援金額はいくらになりますか。	支援金を支給できるのは、1組の移住者につき1人の紹介者のみです。2人の紹介者に5万円ずつ支援金を支給することは出来ません。紹介者が2人以上いる場合は、代表の1人に申請書を提出していただき、代表者の口座に支援金10万円をお振込みします。
(5) 支援金の申請について		
12	どうしたら支援金がもらえますか。	支援金支給までの流れは以下のとおりです。 ①紹介者が申請フォーム(市ホームページ)から面談申込 ②紹介者・移住(希望)者・市職員でオンライン三者面談を実施 ③見附市内で現地視察ツアーに参加(※移住(希望)者のみの参加でも可) ④移住(希望)者が実際に見附市に転入 ⑤紹介者・移住者がそれぞれ申請書提出(移住者の転入日から90日以内) ⑥支援金支給
(6) 三者面談について		
13	面談では何を確認するのですか。	移住(希望)者と紹介者の関係性や、市職員が紹介する見附市の魅力や移住支援策等に対する紹介者の率直な感想等を教えていただきます。面談時間は30分から1時間程度を予定しています。
14	オンラインで面談したいのですが、どうしたら良いですか。	Zoomを使用したオンライン面談を行いますので、パソコン等をご準備ください、

(7) 移住体験ツアーについて		
15	移住体験ツアーの内容を教えてください。	移住体験ツアーは、参加者の興味や要望に合わせてオーダーメイドでご提案します。市内案内だけでなく、先輩移住者から体験談を聞くなど、移住するにあたっての不安を解消できるようなツアーを組ませていただきます。交通費半額補助（上限1万円）もありますので、気軽にご参加いただけます。ツアー時間は2時間～半日程度を予定しています。
16	移住体験ツアーは土日祝日でも参加できますか。	原則は平日に実施しますが、土日祝日で調整することも可能ですので、お気軽に市役所までご相談ください。
(8) 申請書の提出について		
17	何を提出すれば良いですか。	以下の書類を提出してください。 【紹介者】 ・様式第1号（見附市つながり移住支援金交付申請書（紹介者用）） ・別紙1（誓約事項） ・別紙2（個人情報の取扱い） ・写真付き身分証明書の写し ・見附市への在住歴が確認できる住民票の写し ・振込先が確認できる預金通帳又はキャッシュカードの写し 【移住者】 ・様式第1号の2（見附市つながり移住支援金交付申請書（移住者用）） ・別紙1（誓約事項） ・別紙2（個人情報の取扱い） ・写真付き身分証明書の写し ・見附市の住民票の写し ・移住元の住民票除票の写し ・振込先が確認できる預金通帳又はキャッシュカードの写し ・住宅取得に係る書類の写し※住居が決まる以前に移住体験ツアーに参加したことを確認するための書類 （新築住宅取得の場合：請負契約書等、建売住宅・中古住宅取得の場合：売買契約書、賃貸住宅の場合：賃貸借契約書）
18	いつまでに提出すれば良いですか。	移住者が見附市に転入した日から90日以内に提出してください。
19	「3者面談→現地ツアー→見附市へ転入」まで進んだが、移住者・紹介者のどちらかが申請書を提出しなかった場合、支援金はもらえますか。	移住者・紹介者のどちらかが申請書を提出しなかった場合、支援金を支給することはできません。
(9) 支援金の返還について		
20	どのような場合に返還が必要ですか。	以下に該当する場合は、支援金を返還していただきます。 （1）虚偽の申請等をしたとき （2）交付要綱に違反していることが認められたとき （3）移住者が、転入日から3年を経過することなく本市から転出したとき （4）その他市長が不適当と認める事由が生じたとき
21	移住者が3年未満で市外に転出した場合、（紹介者に落ち度がなくても、）移住者だけでなく紹介者も支援金の返還が必要ですか。	紹介者も支援金を返還する必要があります。移住者・紹介者のどちらかが返還事由に該当した場合、両者返還が必要となります。
22	移住者の市外転出状況はどのように確認するのか。	毎年住民基本台帳の登録状況で確認します。（申請書を提出していただく際に、市が住民基本台帳で調査することについて、移住者から同意を取得します。）
(10) その他		
23	上記以外でやるべきことはありますか。	支援金を支給された方には、市が実施するアンケートや記事作成に協力していただきます。
24	市のホームページなどに顔や名前を出してほしくないのですが、どうしたら良いですか。	ご要望があれば、顔部分のみ他の画像で隠したり、イニシャルでのお名前を表示したりすることも可能です。記事公開前に、ご本人にも内容を確認していただきますのでご安心ください。不安なことがありましたら、お気軽にご相談ください。